

令和5年度「村山地域入退院支援の手引き」の運用に関するアンケート 集計表

市 町

(回答数：13)

記入者の基礎資格（複数選択可）	回答数	割合(%)n=13
1 行政職	6	46.2
2 保健師	8	61.5
3 その他	0	0.0
合 計	14	—

Q1 医療と介護の連携充実と切れ目ない療養支援の実現のため、関係者等へ手引きの周知をしていますか。		
	回答数	割合(%)n=13
1 周知している。	12	92.3
2 周知していない。	1	7.7
合 計	13	100.0

手引きの周知方法や周知先を教えてください。

- * 周知先：居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、地域包括支援センター
周知方法：メール送付、研修会等での紹介、在宅医療・介護連携室ポピーのホームページにてリンク掲示
- * 市主催のサービス調整会議で周知している。
- * 指定事業所へ手引き改訂時にメール送信
- * 介護関係者等が集まる機会にて、折々に紹介している。
- * ケアマネージャーが参集する会議にて、手引きの周知を行った。
- * 手引きが作成された最初の段階で介護支援専門員の会議等で使用している
- * 会議等で事業所へ周知した
- * 【周知方法】・手引きを印刷し配付
【周知先】・包括支援センター・町内居宅介護支援事業所・町内介護サービス事業所
- * 居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所
- * 地域包括支援センター
- * 町内居宅のケアマネージャー等が集まる定例会議において手引きを周知した
- * 手引きを配置してもらっている。

その他、手引き活用促進に係る取り組みを行っている場合は、内容を教えてください。

- * 特にありません。
- * 今回のアンケートで居宅介護ケアマネがどのように活用しているかを知ることができたので、今後の活用促進に活かしたい。
- * 手引き掲載県ホームページを紹介し活用を促している
- * 介護支援専門員が集まる会議などを活用

手引きを周知していない理由は何ですか。

- * 在宅医療・介護連携推進業務を委託しており、その拠点において周知しているため、市独自の周知は行っていない。

Q2 令和4年度に病院が担当ケアマネジャー等を把握できない場合、村山地域の病院から貴市町あて入院時情報提供に関する問合せがありましたか。

		回答数	割合(%) n=13
1	あった。	3	23.1
2	なかった。	10	76.9
合 計		13	100.0

**(Q2で「1あった」と回答した場合)
(1) 令和4年度の問合せや相談の件数を教えてください。**

*27件

(2) (1)の問合せや相談に対して、どのように対応したか教えてください(複数選択可)。

		回答数	—
1	一旦電話を切ってから担当ケアマネジャー等から病院にかけ直し情報提供した。	3	—
2	一旦電話を切ってから市町からかけ直し、情報提供をした。	1	—
3	常に連携を取っている担当者からの電話だったので、一旦電話を切らずに情報提供をした。	1	—
4	その他	0	—

(3) (1)の問合せや相談で対応に苦慮するようなことがあれば、概要を御記入ください。

*特になし

Q3 手引きの運用について、課題や改善すべき点があれば御記入ください。

*特にありません。

*本市においても、行政・包括・介護施設・介護事業所等での手引き活用が浸透するよう周知をしてきたところであるが、医療機関側の認知度と活用がどのような状況になっているのか、このたびのアンケート調査を通じて知ることができればと考える。

*課題:救急医療対応医療機関において、病床確保を最優先とする病院の暗黙の方針が入退院支援担当者にも浸透しており、それが障害となって退院支援が必要かの検討がなされていない。

改善:介護職員は看護師や医療機関に遠慮しているので、介護分野から医療機関へ連携を働きかけるのは困難。医療機関関係者から介護へ連携を働きかける方が連携が現実的に推進する。

Q4 入退院支援をより良い支援にしていくために、御意見等があれば御記入ください。

*コロナ禍により関係者間(病院、介護関係者、行政)の情報交換などの機会が少なくなってしまうため、今後はそのような場を徐々に再開し、手引き・フローの改良や、連携の強化を図れるとよいと考えます。

特に、「手引き」5ページに、入院に伴い初めて介護保険の申請が必要になった場合の申請のタイミングについて記載されていますが、認定に時間がかかるので早く申請に行きたくてとだけ言われて窓口に来られる方が多く、対応に苦慮しています。本人及びご家族に対し不安や混乱を招くことのないよう、介護保険制度について丁寧に説明し、適切な時期に申請していただくため、医療関係者等と改めて「手引き」の中身について情報を共有する必要があると考えます。

*なし